

# 第7回 東京 民草の和をつなぐ会

---

令和4年4月9日

---

# 第1回日本自治集団会合(37団体)

- ◆ 趣旨:日本の伝統的共治自立文化を尊ぶ団体が集結し、日本の伝統的共治秩序で自立した日本国家を修理固成するべく行動する。
- ◆ 原則:グローバル秩序から脱し、各団体の共治活動を規制する契約的規則は作らない。
- ◆ 第1の活動:先ずは、グローバル資本主義とは無縁の自治規範を創る。

〈自給自足の農で暮らしていける仕組づくり〉

**民草の和をつなぐ会**

**民 草**

**天の恵み と 地の恵み  
の下で  
共同努力で生きる**

# 天神地祇

- ◆ 天津神と国津神 一体
- ◆ 現世と常世（隠世、幽世） 一体
- ◆ 高皇産靈神と神皇産靈神 一体
- ◆ 伊弉諾神と伊弉冉神 一体
- ◆ 天照大神と月夜見命・須佐之男命 一体
- ◆ 和御靈と荒御靈 一体
- ◆ 生と死 一体
- ◆ 身体と心魂 一体

# 鹿島神流の五条の法

陰陽一体

虚実一体

動静一体

起発一体

攻防一体

# グローバリゼーションは 二律背反の思考

理性、合理性、科学  
現実との矛盾

一つの宗教・思想・秩序で統一  
自らの正当化のためには  
他を否定し排除しなくては成立しない

New World Order

# 天之御中主神

万物万象一元一体

八百万の神等集へに集へ議りに議り

一部分では不完全

分離分派は禍つく

民草の**和**をつなぐ会

**和**

**和して真理に近付く**

**縦(時)の和**

**横(代)の和**

# 代々の天皇(先祖崇拜)

- ◆ 神武天皇「天津神の國を授けたまう徳に答え」
- ◆ 継体天皇「天より百姓を生して樹つるに君を以てし  
助け養うことを司め生命を全からしむ」
- ◆ 文武天皇「天津日嗣高御座の業と現御神と大八島  
所知めす倭根子天皇命の授賜い負賜う  
貴き高き広き厚き大命を受賜り、此の食国  
天下を調賜い平賜い天下の公民を恵賜  
い撫賜はむ」
- ◆ 明治天皇「諸事神武創業の始めに原き」

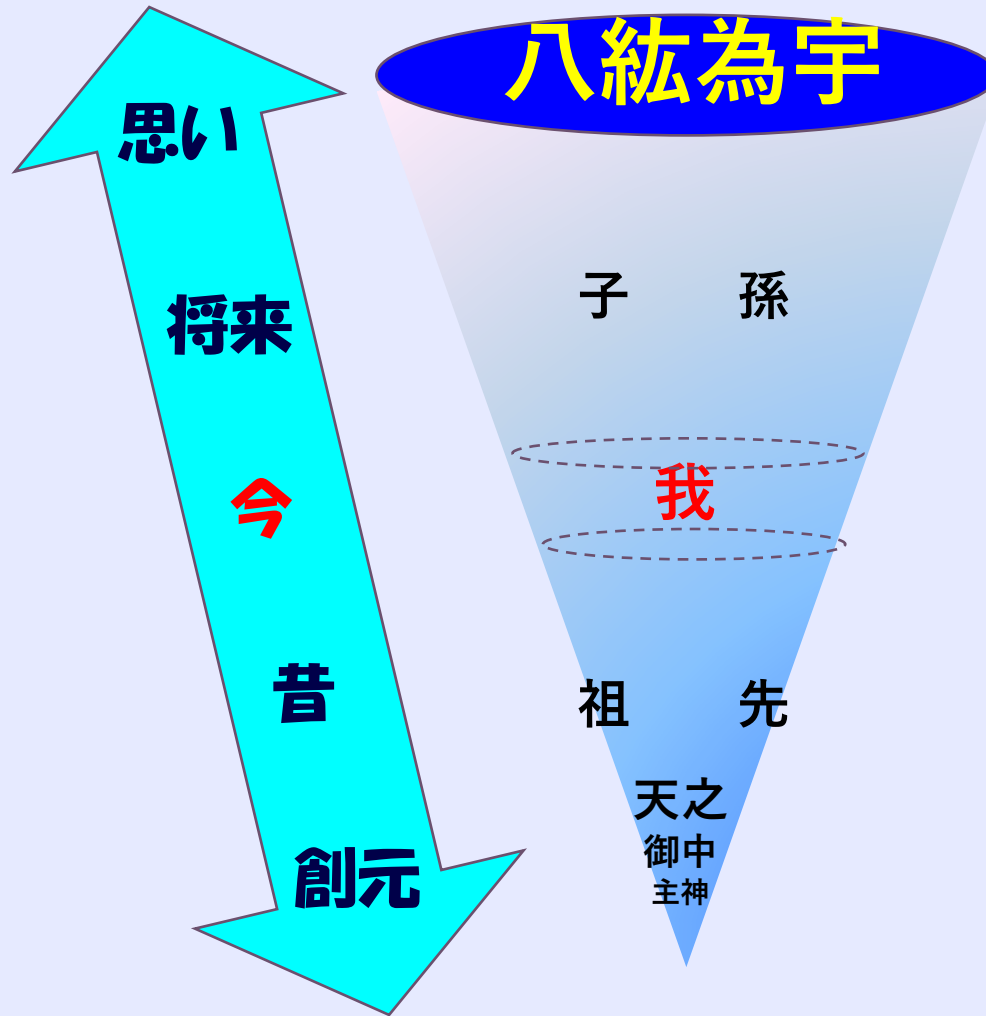
# 代々の天皇(君民一体)

- ◆ 神武天皇「八紘を掩いて宇と為む」
- ◆ 仁徳天皇「天の君をたつことは是れ百姓の為なり」
- ◆ 孝徳天皇「集り侍る國民の訴うるところ聴け」
- ◆ 清和天皇「民夷を論せず朕が親くみる若く為せ」
- ◆ 孝明天皇「天下心を一つに合わせ力を一にせば  
神州の元気回復せんに難きこと有らん」
- ◆ 明治天皇「万機公論に決すべし」
- ◆ 上皇陛下「天皇として国民を思い国民のために祈るという務めを人々への深い信頼と敬愛をもってなし得たことは幸せなことでした」

# 日本人の思考

- ◆ 一体としての宇宙・自然観 (産霊)  
宇宙→地球→人間
- ◆ 一体としての時間感覚 (中今)  
過去→今→未来
- ◆ 万物万有一体の考え (八紘為宇)  
大調和を目指す文化

# 一体としての時 「中今」



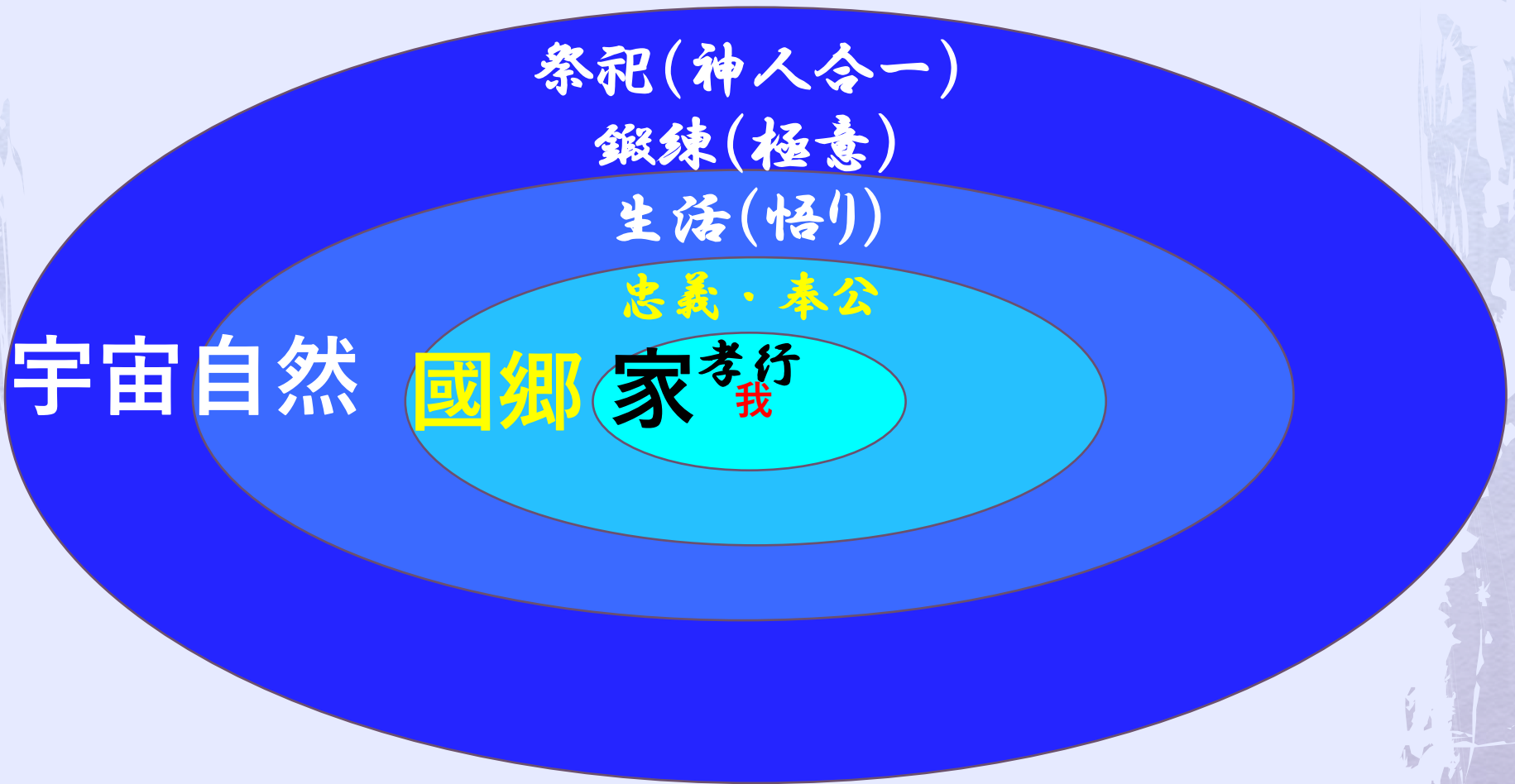
# 生成と時

過去は今に成り  
未来は今から生まれる

時は一体  
一つのエネルギーの生成過程

万物万象を結ぶのが時

# 調和の仕方



# 民草の和をつなぐ会

離れない 禍つかないよう襷袢  
切れたり離れたり 直霊に戻る  
長持ちさせる 思い(共振)やり  
絶えないようにする てまひま

民草の和をつなぐ会

逢う(≠遭う)

社で会う

縁＝むすび(産霊)

創造

無窮

# 天壤無窮

産霊(生成)が永遠に続く

存在思想 → 在るものを対象に思考

行を外から合理によって説明し

行をやらずに行を分かったことにする

生成思想 → 成長と創造を対象に思考

行の中に入り体験から変化を知る

体得した変化を自ら成し遂げ体顕する

# 私達の未来

~~米国に頼るしかない  
経済成長がないと終わり  
グローバル化しかない~~

**理想に近付くように変化する  
天地の力を頂き  
民草の和をつないで力を尽くす**



# 万物万象一体の宇宙観

## 産霊（ムスビ）

天地初設之時 於高天原成神名

天之御中主神

高皇産霊神

神皇産霊神



# 天皇と国民

神武天皇初設之時 於高天原成神名

